

編集後記

昨年 10 月に自殺対策基本法が施行され、それを踏まえて本年 6 月には、10 年間で自殺者を 20 % 減らすという目標を掲げて自殺総合対策大綱が打ち出された。その中で、自殺を予防するための当面の重点施策として、①自殺の実態を明らかにする、②国民一人ひとりの気づきと見守りを促す、③早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する、④心の健康づくりを進める、⑤適切な精神科医療を受けられるようにする、⑥社会的な取組で自殺を防ぐ、⑦自殺未遂者の再度の自殺を防ぐ、⑧遺された人の苦痛を和らげる、⑨民間団体との連携を強化する、が挙げられた。ことさら職域、地域、学校でのゲートキーパーなどの人材育成と国民に対する啓発が重要になってくる。

本号の「巻頭言」(西園マーマ文女史)では、地域の保健センターでの産後メンタルヘルス援助事業として、医療機関に受診してこない方々との出会いの経験を述べられ、“本格的な受診以前の方々の症候学に注目”することの重要性が指摘された。本年 4 月にはがん対策基本法が施行され、がん治療全体における精神腫瘍学、リエゾン精神医学の重要性が指摘されている(内富庸介氏、本誌本年 6 月号、「巻頭言」を参照)。また、オーストラリア、北米、ヨーロッパから沸き起こってきた統合失調症を中心とした早期精神病の早期介入の取り組みが本邦でも始められ(松本和紀氏、本誌本年 4 月号、「展望」を参照)、本号の「資料」では 10 年間におよぶ学校精神保健領域での精神障害の早期発見・早期対応の経験が示されている(小椋力氏、他)。

これらの領域の中核は予防精神医学である。それぞれ一次～三次予防まで力点は異なるが、特に二次予防では何事かにつまづいて精神科を受診してくるクライアントを診察室で待っているのではなく、宣伝や自らの足を使って積極的に診察室から一步踏み出すことが求められる。従来の地域精神保健活動の延長線上でもあるが、診察室の一步手前であるという点で精神科医の強力なリーダーシップが不可欠である。もちろん、精神科医として安易に口を挟んだり治療を強制したりできない領域でもあり、慎重さや気配りのみならず倫理的正当性を明確にする必要がある。冒頭で述べた自殺総合対策大綱は、自殺対策以外の領域での予防精神医学やアンチスティグマ活動を展開する際の雛形としての意義もあると期待する。(H.M.)

■ 編集委員

飯森眞喜雄
井上 新平
小島 卓也
小阪 憲司
松岡 洋夫
三國 雅彦
山崎 晃資
(ABC順)

精神医学 (第 49 巻 第 8 号)

2007 年 8 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2007 年 年々ぎめ予約購読料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・小松原

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。